



平成28年
年頭のあいさつ

笑顔と

元気あふれる

住みよいまちに



田布施町長 長信 正治

新年明けましておめでとございます。町民の皆様には、お健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年は、田布施町合併六十周年の記念すべき年であり、「絆深めて六十年ともに未来へ 田布施町」のキャッチフレーズで、町をあげて諸行事などに取り組んでまいりました。また、記念式典では、六人目となる田布施町名誉町民に、初代町長である吹田愷氏を推戴し、名誉町民の称号と名誉町民章を授与しました。

また、町としても、麻里府小学校の

閉校、「世界スカウトジャンボリー」、「ねんりんピックおいでませ！山口2015」と大きな行事などがありました。「ねんりんピック」でのアテnderとしての高校生の活躍、「合併六十周年記念式典」での受付・案内係等としての中学生のおもてなしでみられた将来の田布施町を支える若い力の活躍には、目を見張るものがあり、感動を覚えた年でもありました。

今年、田布施町として新たな一歩を踏み出すこととなりますが、私にとっても、町長として十年目の節目の年であり、身の引き締まる思いで新春を迎

えました。

行政面では、庁舎問題など大きな課題も抱えておりますが、厳しい社会経済情勢のもと、本町では、平成二十二年に十年間のまちづくりの最上位計画となる「第五次総合計画」を策定し、この中で、まちの将来像のキャッチフレーズを「笑顔と元気あふれる住みよいまち田布施」とし、一層の行政サービスの向上と、将来にわたる健全で安定した財政運営ができるよう努力してまいりました。この度、二十八年度から五年間の後期基本計画を策定いたしました。人口減少問題の克服に向け、国・県と連携し、産業・地域・人材などの活力創出を目指した「まち・ひと・しごと創生」いわゆる地方創生総合戦略を包含したものといたしました。

私は、町長に就任して以来、「農業の再生」、「安心安全のまちづくり」、「健康づくり」、「住み良き県一のまちづくり」をテーマとしてまちづくりに取り組んでまいりました。荒廃農地解消や農地の有効利用が図られるよう、引き続き国営ほ場整備事業を進めていくとともに、地域おこし協力隊による小行司地

域の活性化・持続、「田布施町IJU(移住)推進協議会」での田布施の新たな魅力の発掘・PR、そして、県内大学などとの連携による若者の町(県)内定着や、都市と農山漁村の交流などを計画しています。

また、消防・防災対策の充実や災害に強いまちづくり、交通安全対策、地域防犯対策、消費者保護などについては、協働による安全安心なまちづくりを進めていきたいと思っております。

さらに、安心して子どもを産み育てられるよう、保育サービスの充実や「子育てカフェ」の新設など家庭・地域の子育て支援、婚活イベントの実施等結婚に対する支援を行うとともに、町といたしましては、今後とも町民の健康維持・増進の健康づくりに務め、新しい時代に対応したまちづくりの仕組みを整えながら、住み良さが実感できるよう積極的に事業を進めてまいります。最後になりましたが、本年も更なる「躍進」の年とし、笑顔と元気あふれる魅力ある田布施の実現を目指して全力を尽くすことをお誓いし、新年のご挨拶とさせていただきます。